

榎島コミセン 第70号広報紙

令和7年6月発行 発行：榎島地区コミュニティ推進協議会 編集：広報推進委員会 住所：宇治市榎島町大川原 27-5 TEL 39-9189 FAX 39-9190

「地域コミュニティと協力の大切さ」

会長 田邊まゆみ

昨年度に引き続き、今年度も榎島地区コミュニティ推進協議会の会長を仰せつかりました。

榎島コミセンは、防災意識の向上と、日々の健康生活促進への取り組みを中心に様々な事業を行なって参りました。

今年度も、防災の大切さを認識する様な取り組みを始め、健康に生きる為の講座の開催等、色々な事業を考えております。

希薄になっていく地域の中で、コミュニティの中心となり、居場所であるコミセンを、住民の方々が、「参加したいなあ」と思ってもらえる取り組みを行なって参りたいと思っております。

また、本年度は、構成する他団体との共催、協賛する事業が増えます。他団体でも、会員減少があり、事業を支える為にもコミセンが少しでも力添えになるよう協力していきたいと考えます。

事務局を始め、各委員会の委員の方々と共に協議を重ね、一つ一つ事業を意義あるものとして取り組む一年にしたいと思っております。

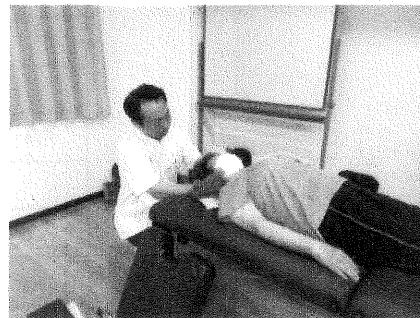
町内会、自治会、地域の皆様には、行事への参加やご協力等を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

「健康講座」

令和7年6月21日（土）「第一回健康講座からだメンテナンス in 榎島」を宇治市健康づくり推進課主催、榎島地区コミュニティ推進協議会共催で行われ、60名の参加がありました。



小川先生の姿勢改善講座



のぞみ整骨院による背骨骨盤矯正



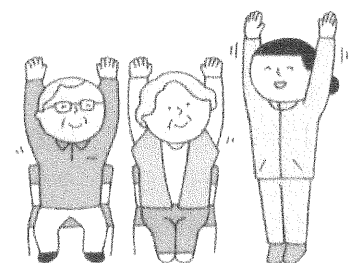
ロコモ度立ち上がりテスト



血管年齢測定



適塩レトルト食品の試食



「皆さんはどう思われますか」

館長 酒井忠和

地球46億年の中で、人類はあと何年存在させてくれるのか、地球の滅亡は50億年後とされています。太陽の膨張や磁気圏の崩壊、温暖化など、宇宙も変化を続けています。2070年までに35億人が今の状況の土地や国には住めなくなるそうです。現在においても熱波、水不足、海面上昇、熱帯低気圧、食糧不足など不安要素は沢山あります。

また、日本が沈むことはないようですが、2600年までに海面が90cm上昇すると、都市は冠水、浸水で住めなくなるようです。

20世紀までは人間の社会でしたが、21世紀はコンピューターというものができ、人々はスマホなどに頼るようになり、世界は急に変わりました。その上、AIの出現で人間の価値すら心配になります。

そんな中、小さなコミュニティではありますが、地域の中でのコミュニティセンターの存在や役割は、益々重要で大切な場所になっています。

世界の人々が思う事は同じだと思いますが、人類と言う特別な地球生命体を皆で考えましょう。



捨てるのはもったいない...まだ使えるけど、使わなくなった「衣類、かばん、くつ、ぬいぐるみなど」をリユースしませんか？

【問い合わせ】宇治市まち美化推進課 0774-20-8692

今後の事業予定

- 7月13日(日) 防災講演会
 - 7月26日(土) 夏休み子ども企画
 - 10月26日(日) 文化祭
 - 11月22日(土) 健康講座
 - 12月14日(日) クリスマスコンサート
- *ポスター掲示等でお知らせします。

回収場所・品目

市役所北側玄関前		木幡公民館	
西小倉コミュニティーセンター		横島コミュニティーセンター	
京都中央信用金庫木幡支店内		南宇治コミュニティーセンター	
分類	品名	分類	品名
衣類	T シャツ	はきもの	スニーカー
	トレーナー		革靴
	ズボン		長靴
	スカート	かばん	リュックサック
	コート		ポーチ
	セーター		ショルダーバッグ
	カーディガン		キャリーバッグ
	子供服		ゴルフバック
	スポーツウエア	服飾雑貨 ・ その他	ベルト
	スーツ		手袋
	肌着		靴下
	水着		帽子
	ドレス		毛布
	下着		着物
回収できないもの			
・汚れている、破れている、濡れているもの ・布団、敷きパッド、カーペット、生地 ・作業服、制服（会社） ・下駄、ハンガー、おもちゃ			